

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人めぐみ会
施設名	宝塚仏光保育園
報告者（役職）	堀 正純（園長）
住所・連絡先	兵庫県宝塚市山本東 2-6-21
	☎ 0797-26-7166
	E-mail megumikai@soleil.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

子どもだってストレス発散したい！～青い空の下、屋上園庭でおもいっきり遊ぼう！～

○主な助成備品

鉄製室外遊具、雲梯

1. 保育計画策定の目的

当園は、令和2年4月に開園した認可保育所になります。立地場所が住宅街にあり、近隣住民との対話に時間を要し、当初予定の平成31年4月開園を1年後へ遅らせた経緯があります。対話の中で騒音対策（子供の声）が問題の一つとなり、開園と同時の屋上園庭の利用は控えるよう近隣住民と約束しておりました。

開園して1年が経過した頃、近隣住民とも良い関係が築けてきたので、屋上園庭の整備に取り掛かり、そのうちの2つの遊具について第一生命財団の助成事業に応募いたしました。

地上園庭も配置しておりますが、0歳から5歳までの約140名の子供たちには市街地という事もあり、十分な外遊びのスペースを提供できておりません。

また、発達に応じた大きな総合遊具なども園庭面積を減らすことになり、配置することができません。

そのため、屋上園庭を利用し、場所を分散して体を動かすスペースを確保し、有効な遊具を用いて保育を行いたいと計画いたしました。

2. 具体的な実施内容

【鉄製室外遊具 SANGO J16G0】

SANGO [サンゴ]はカクカク楽しい木登りジャングルジムになります。正面がないので、どの角度から見ても不思議に面白いジャングルジムです。木登りのように遊びながら体の動かし方を学びます。どの



枝を掴めばよいのか、どの手とどの足をどう動かせば

良いのか、体と頭を使って遊びます。大人が中に入って補助しながら遊べる様に、枝の間隔が広くできていて、大きい入口も設けてあります。重量が180kgあり、大人が上に乗ったり、一緒に遊んでも問題ありません。高い枝は細く、低い枝は太く、掴みやすい設計になっています。



【雲梯 移動式雲梯小(リトル雲梯)】

それぞれのレベルに合わせて遊びだけではなく、次へ次へと挑戦するには運動能力の向上は欠かせません。そのためには基礎的な体力に加えて運動スキルの向上が大切な要素です。リトル雲梯は遊びながら自然とスキルを身につける遊具になります。

自分の体を意識し、物との距離感をつかむ空間認知能力や全身の筋力を育み、体を移動させる運動スキルを養います。



ぶら下がったり、しがみついたり、押したり、引いたりする運動スキルを養います。筋力や持久力が高められます。

3. その成果と評価

最近では、木のぼりができる場所もほとんどなくなってきました。赤いサンゴのようなオブジェみたいなジャングルジム

(SANGO) と雲梯で子どもたちの体力や運動スキルを養い、子ども自身が体の動かし方を考え、学ぶことができるようになりました。

SANGO [サンゴ]は、珊瑚礁のように複雑に配置された異なる太さの幹や枝が特徴です。握りきれない太さの支柱や斜めに配置された枝などにより、従来のジャングルジムで行われていた単純な掴む・登る・くぐるという動作の他に、抱きつく・またがる・ぶら下がる・よじ登るなど、「木のぼり遊び」のように複雑な動きも促されるようになりました。

屋上園庭を整備してから、地上園庭においても余裕スペースが増え、園児全体が伸び伸びと外で遊べる様になりました。保護者からも、遊具が増えて、今まで以上に楽しんで登園するようになったとご好評をいただいております。



4. 今後の課題と展望

幼児期は小学校への接続を意識した保育をしなければなりません。小学校の校庭には、ジャングルジム、鉄棒、雲梯、上り棒などがよく配置されています。幼児期よりそのような遊具に慣れておくことで、小学校に上がった時にスムーズに遊具で遊べるようになり、「小1プロブレム」の解決にも繋がると信じております。



この度いただいた遊具により、外遊びの環境を充実させることができました。

これを機にチャレンジ精神旺盛で何事にも興味を持てる様な保育を展開していきたいと思っております。

以上